池田まき氏
知事選出馬表明

立憲民主党第5区総支部代表、前衆院議員の池田まき氏（50）は2月4日、新千歳空港内で記者会見し、3月23日告示、4月9日投開票の道知事選に無所属で立候補することを表明しました。池田まき氏は、新型コロナウィルス禍や物価高騰による経済の悪化などで多くの人が苦しんでいるとし、「あたたかい道政をつくり、誰ひとり置いてきぼりにしない。1期4年で結果を必ず出す」と決意を述べました。

誰ひとり置いてきぼりにしない あたたかい道政へ !!

めざす姿・政策の方向性

1.「人」にあたたかい道政

誰もが尊厳ある一人の人間として大切にされる北海道をつくる。「命」と「暮らし」、「人権」と「平和」を守る。

2.地方が主役の北海道

179市町村と肩を並べ、中央の視点からこぼれ落ちた生活現場の声を反映する。道民参画の地方自治を実現する。

3.持続可能な地域社会

医療や教育など公共財を守り、大自然や食料自給率の高さなど北海道のポテンシャル（潜在能力）を生かす。

社会福祉士
介護福祉士
精神保健福祉士

街頭演説スタート。多くの道民が激励に

池田まき氏は、出馬表明した後、さっそく街頭に立って報告。4日は千歳市、恵庭市、札幌市厚別区、江別市、翌5日には北広島市と、衆院5区管内からの遊説活動をスタートさせました。

街頭演説は当日直前の案内でしたが、多くの市民・道民が「イケマキ頑張れ」と激励に駆け付けました。2月中旬からは、全道を回ります。

千歳市

恵庭市

厚別区

江別市

北広島市

池田まきさんが思いを語りました。

池田まきの思い

昨年6月、私もよく朝街宣をしている千歳駅のコインロッカーで亡くなった赤ちゃんが見つかりました。衆院議員現職の時に超党派で成立をめざした「困難な問題を抱える女性支援法」がちょうど国会で成立した時期でもありました。

発見された1週間前に私は朝の街頭活動を千歳駅で行っていました。惜しくもその日にコインロッカーが使用された日と判明しました。救えなかった赤ちゃんの命と同時にお母さんのことが頭をよぎりました。

母体はどれだけ傷ついただろう、一人での分娩、そして出産までの人生、どんなにつらかっただろう。ソーシャルワーカーとしても、元福祉事務所の公務員としても、そして政治を志す者としても無念と自責の念に駆られました。

道内を見渡せば介護施設での虐待事件、老々介護の自死、警察が保護した…悲しいニュースが後を絶ちません。

目の前の命をどう守れるか、公務員時代には法外でも独自施策を必死に模索し実践した事例、日本初のフリーソーシャルワーカーの挑戦など、小さな「できる」を振り返りました。

「原点に立ち返る」

「気候変動」「経済」「社会」の危機から命や人権を守るため、「子どもの貧困」という言葉を日本からなくすために、政治に挑戦しています。

今、私ができること。それは地域とともに、道民とともに、自治体独自の施策で救える命、守れる暮らしを実践することです。

もう、これ以上、大切な命や人生を犠牲にしない。

どんなに疲れていても、ひとりぼっちにさせない。国内外からの観光客、癒しにきた旅人、留学生も移住者も道産子もみんな包摂する北海道へ。先住民族であるアイヌの知恵や優しさ、先人のフロンティア精神を受け継ぎ、すべての人が安心でき誇れる北海道へ。

179市町村の網目からこぼれる命がないように、広大な北海道だから「できる」施策を地域と共に実践していきます。これぞ、地方自治の真髄です。ともにつくりましょう。

池田まきのプロフィール

命・暮らし・平和をまもるソーシャルワーカー 公共政策学修士（専門職）

- 1972年5月24日生まれ。双子座、O型。札幌市厚別区在住。
- シングルマザーとして二人の子どもを育てた。
- 介護、福祉の仕事をしながら、ヘルパー1級、社会福祉主事、介護支援専門員、介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士、防災士などの資格を取得。
- 1997年東京都板橋区に採用。14年間福祉事務所に勤めた。“6つの資格を持つケースワーカー”として紹介される。高齢・障がい・児童・ひとり親・生活保護などの福祉行政に従事。
- 2011年北海道に移住。NPO北海道被災者支援ネット、地域包括支援センター、北海道社会福祉士会などで働きながら、福祉と地域活性化、まちづくりなどに取り組む（内閣官房地域活性化伝道師）。
- 2013年4月北海道公共政策大学院に入学、2015年3月修了。
- 2014年12月第47回総選挙に北海道2区から無所属で出馬し落選。
- 2016年4月北海道5区衆院補欠選挙に無所属で出馬し惜敗。
- 2017年10月第48回総選挙に出馬し、立憲民主党比例北海道ブロックで初当選。
- 2021年10月第49回総選挙に北海道5区から出馬し、11万1,366票を獲得したものの次点で惜敗。

- 趣味：温泉、山菜とり、釣り、バレーボール
- 好きな食べ物：山菜（特に道産タケノコ）、生鮮魚介類。道産米、チーズ

衆院議員1期4年間の活動実績

「子どもの生活底上げ法案」など14本の議員立法を提出。

池田まき氏は、2017年から2021年までの4年間、衆院議員を務めました。『誰ひとり置いてきぼりにしない』政治理念を貫くため、国会では厚生労働委員会、法務委員会、環境委員会、災害対策特別委員会などに所属。

野党の新人1期生ながら福祉の現場20年のキャリアを生かし、「子どもの生活底上げ法案」はじめ「産後ケアセンター設置法案」、「保育や介護の人材育成法案」など、計14本の法案を提出。本会議に5回登壇、委員会質疑は計51回に及びました。

子どもの生活底上げ法案の提出

衆院本会議で代表質問

秋サケの水揚げ現場

胆振東部地震の現場

ブロッコリーの収穫現場

池田まきの連絡先「あたたかい道政をつくる会」
〒060-0042　札幌市中央区大通西5丁目8 昭和ビル6F
TEL 011-596-6692　FAX 011-596-6693
E-mail：info@ikemaki.jp　URL：http://ikemaki.jp/

池田まき　検索

立憲民主党 The Constitutional Democratic Party of Japan
RIKKEN MINSHU 号外
2023年2月5日号
立憲民主党 編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1　三宅坂ビル
電話・03-3595-9988
Fax・03-3595-9088
goiken@cdp-japan.net
http://cdp-japan.jp